

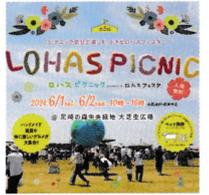
森のしんぶん

2024
SUMMER

尼崎の海辺で100年かけてつくる尼崎の森中央緑地の「今」がわかるニュースレター



6/1(土)
6/2(日)



大芝生広場に約100ブース ロハスピクニック大盛況!

オシャレにかわいくエコを実践しよう!がコンセプトの「ロハスピクニック」が、今年も尼崎の森中央緑地で開催されました。6月1日、2日の2日間で入場者数1万600名! 今年もたくさんの方に会場いただきありがとうございました。

そもそも「LOHAS」とは「環境や健康への意識が高い人々による、環境と共存しながら健康的で無理のない生活を追求するライフスタイル」のこと。自分に無

理なく環境にやさしい生活をおくる。今回もマイボトル、エコバック、カトラリーや食器の持参。また牛乳パックの回収、古本や紙袋などの回収をおこないました。

他にも、子どもたちに大人気だった消防車の展示。やっぱりホンモノってすごい! 毎回人気のバンジーバンジーも大にぎわいで、勇気あるお子さんたちが楽しく体験していました。

森の探検とクラフトでは、自分で取ってきた材料を使ってオリジナル作品づくり。みなさんの感性が素晴らしかったです。飲食&物販が約100ブース集結し、いいにおい! 食べたい!!と思うグルメや、かわいい! 欲しい!!と思う素敵な雑貨がいっぱいでした。

尼崎の森中央緑地のコンセプトは、「100年かけて生物多様性の森をつくる」です。毎月2回の森づくり活動や環境学習の開催などを行っています。このロハスピクニックを通して、環境について考える方が少しずつ増え、身近にある森で森づくりの活動にご参加していただけたら嬉しいです。



ヌマガエル(〜*)...♡
お腹が白いヌマガエル。
今日も、可愛く大合唱です!



仲よく甲羅干し(〜*)...♡尼崎の森にいるカメさんたち。この3匹のかめさんは、パークセンター内の水槽で生活中。。



キキョウ(〜*)...♡
秋の七草の一つ。
美しい紫色が華やか。



amamori.park
兵庫県立尼崎の森中央緑地

中央緑地パークセンターの公式Instagramから季節の写真をご紹介

#あまもり
このタグで投稿を



そろそろ
21世紀の森の
話をしよう



会議編

環境学習をテーマに
“企業版”森の会議

尼崎臨海地域の企業・団体は、工場緑化や植樹、イベントへの参加など、尼崎21世紀の森づくりに取り組まれています。今年、これまで多方向に行われてきたこれらの活動を「環境学習」をキーワードに繋ぎ、尼崎臨海地域をより魅力的な地域にしていく事を目標に、「だれでもいつでもフラットに参加できる」そんな森の会議の素敵なお仲間を活かした「企業版森の会議」がスタートしました。初回は16の企業・団体様が顔合わせ。元々環境改善や地域活動に取り組んでいる企業も、取り組み方を模索している企業も巻き込んで、フラットに話し合っていきます。どんな「やってみよう」が生まれるのか、おたのしみに。

森のカメラマン

ミヤキーの森写

尼崎の森を激写する男「ミヤキー」こと三宅喬さんが見つけた意外な風景写真連載

この光景を見た時、「えっ!」と思いました。これは、クロマツの新芽ですが、長さが見た目1m位あります。今迄見てきた新芽は精々10cm位、その10倍程あり、驚きました。このクロマツ、ここの土とよっぽど相性がよかったのか、お気に入りだったのでしょね、すくすく育ったのです。この後どうなるか、楽しみです。



尼崎の森
中央緑地への
アクセス

■車 / 阪神高速5号湾岸線「尼崎末広インターチェンジ」出口からすぐ(約3分)
■バス / 阪神出屋敷駅から、阪神バス「尼崎スポーツの森」行きへ乗車。「尼崎スポーツの森」で下車。(約5分/土・休日のみ運行)
パークセンター開館時間
9:00~17:00
休館日 年末年始(12/29~1/3)

MORIWORKER

パークセンター所長 郡田 力さん



「実は11年前に尼崎の森にかかわっていたんです」と話してくれたのは、今年4月から中央緑地パークセンターの所長に就任した郡田(こおりた)さん。当時、兵庫県の職員として「ふれあいの祭典」というイベントを企画し、子どもたちの手紙をタイムカプセル入れて森に埋めたそうです。「その頃の公園はまだまだ工事中で、これだけ大きな芝生広場や森が育っていたなんて感慨深いです」と、園内巡視しながら11年の変化をかみしめています。尼崎で暮らして30年。「これまで自然やいきものとふれる機会がなかったので、パークセンターにいるさまざまな専門家から知識を吸収したいです」と意気込みを語ってくれました。

見どころは? 「芝生のまんなかで大の字になって寝転んで、空の広さを感じてもらいたいですね。」

野の花Labo

2021年から始まった在来種の野草を増やす「野の花Labo」の様子を紹介します。開催は裏面をチェック。



はじめましての虫たち

尼崎の森を生き物でいっぱいにするために、野の花Laboではたくさんの野草を植えて育てています。野草の高さに視線をあわせて森の中を見ていると、今まで出会ったことのない生き物を発見する時があります。写真の虫は、4月の活動中に草のあいだをひらひらふわふわと、不思議な飛び方をしている生き物を見つけ花にとまったところをパシャリと撮りました。調べてみると「ヒゲナガガ」の一種で蛾の仲間であることがわかりました。彼らがどうやってこの森を見つけ、やってきたのかは謎ですが、はじめましての虫に嬉しくなりました。このように、野の花Laboでは生き物との出会いを楽しみながら活動しています。野草や自然に興味がある方、一緒に活動してみませんか? お子様も大歓迎です。

イベント
ピックアップ

環境のことをまなぶ
夏休みイベント開催

8/9
(金)

「尼崎の森中央緑地や尼崎運河など、尼崎の臨海地域（尼崎21世紀の森構想エリア）での「環境学習」を尼崎市内外に広く知ってもらおうイベントを開催します！

学生さんの発表をはじめ、森構想エリア内の企業・団体による、夏休みの自由研究にも使えるワークショップやブース出展など盛りだくさん!!
気になるけど行ったことがない方も、是非この機会に「尼崎21世紀の森」を気軽に体験してください!!



- 日時 8月9日(金) 12時～16時
- 場所 尼崎市立小田南生涯学習プラザ (JR尼崎駅南口より東へ徒歩5分)
- 問合せ 尼崎港管理事務所 尼崎21世紀プロジェクト推進室 TEL 06-6105-4432
- 料金 無料

森の会議で
会いましょう

野草のグルメ



生木でクラフト



野草を食べ、生木を削り
森の中で瞑想にふける土曜日

「森の会議」も今年120回を数えます。

4月は新生活や新しい環境をほぐそうと、静かなこもれびの中で目を閉じて瞑想を体験しました。ヨガインストラクターの吉識あゆみさん、森の癒し効果を実感しました。

5月には野草に詳しいパークセンタースタッフ水田さん

4月は新生活や新しい環境をほぐそうと、静かなこもれびの中で目を閉じて瞑想を体験しました。ヨガインストラクターの吉識あゆみさん、森の癒し効果を実感しました。

とともにポイル、ソテー、天ぷらなどで野草を味わいました。ヨモギ、カラスノエンドウがすっかり食べごろ、と思いきやちよつとごわごわした食感。それでもヨモギの天ぷらは大人気でした。

6月は「グリーンウッドワーク」と銘打って、イジッド・リーさんをゲストに間伐材からスプーンや身近な道具を作るクラフトに挑戦。今回は完成を目指して15時まで時間を延長すると、公園に遊びに来ていた人も飛び入りでたくさん参加してくれました。

7月は夜の焚き火を企画中。尼崎の森の可能性が広がっています。

森の中で瞑想



森の会議は
毎月第1土曜開催
10:00～12:00
7月6日は17:00～20:30



会議の様子やお知らせはFacebookでも。

21世紀の森の話をしよう



会議編

環境学習をテーマに
“企業版”森の会議

尼崎臨海地域の企業・団体は、工場緑化や植樹、イベントへの参加など、尼崎21世紀の森づくりに取り組まれています。今年、これまで多方向に行われてきたこれらの活動を「環境学習」をキーワードに繋ぎ、尼崎臨海地域をより魅力的な地域にしていく事を目標に、「だれでもいつでもフラットに参加できる」そんな森の会議の素敵な仕組みを活かした「企業版森の会議」がスタートしました。初回は16の企業・団体様が顔合わせ。元々環境改善や地域活動に取り組んでいる企業も、取り組み方を模索している企業も巻き込んで、フラットに話し合っていきます。どんな「やってみよう」が生まれるのか、おたのしみに。

森のカメラマン

ミヤキーの森写

尼崎の森を激写する男「ミヤキー」こと三宅喬さんが見つけた意外な風景写真連載

この光景を見た時、「えっ!」と思いました。これは、クロマツの新芽ですが、長さが見た目1m位あります。今迄見てきた新芽は精々10cm位、その10倍程あり、驚きました。このクロマツ、ここの土とよっぽど相性がよかったのか、お気に入りだったのでしょね、すくすく育ったものです。この後どうなるか、楽しみです。



尼崎の森
中央緑地への
アクセス

■車 / 阪神高速5号湾岸線「尼崎末広インターチェンジ」出口からすぐ(約3分)

■バス / 阪神出屋敷駅から、阪神バス「尼崎スポーツの森」行き乗車。「尼崎スポーツの森」で下車。(約5分/土・休日のみ運行)

パークセンター開館時間
9:00~17:00
休館日 年末年始(12/29~1/3)

MORIWORKER

パークセンター所長 郡田 力さん



「実は11年前に尼崎の森にかかわっていたんです」と話してくれたのは、今年4月から中央緑地パークセンターの所長に就任した郡田(こおりた)さん。当時、兵庫県の職員として「ふれあいの祭典」というイベントを企画し、子どもたちの手紙をタイムカプセル入れて森に埋めたそうです。「その頃の公園はまだ工事中で、これだけ大きな芝生広場や森が育っていたなんて感慨深いです」と、園内巡視しながら11年の変化をかみしめています。尼崎で暮らして30年。「これまで自然やいきものとふれる機会がなかったので、パークセンターにいるさまざまな専門家から知識を吸収したいです」と意気込みを語ってくれました。

見どころは?

「芝生のまんなかで大の字になって寝転んで、空の広さを感じてもらいたいですね。」

野の花Labo

2021年から始まった在来種の野草を増やす「野の花Labo」の様子を紹介します。開催は裏面をチェック。



はじめましての虫たち

尼崎の森を生き物でいっぱいにするために、野の花Laboではたくさんの野草を植え育てています。野草の高さに視線をあわせて森の中を見ていると、今まで出会ったことのない生き物を発見する時があります。写真の虫は、4月の活動中に草のあいだをひらひらふわふわと、不思議な飛び方をしてる生き物を見つけ花にとまったところをパシャリと撮りました。調べてみると「ヒゲナガガ」の一種で蛾の仲間であることがわかりました。彼らがどうやってこの森を見つけ、やってきたのかは謎ですが、はじめましての虫に嬉しくなりました。このように、野の花Laboでは生き物との出会いを楽しみながら活動しています。野草や自然に興味がある方、一緒に活動してみませんか?お子様も大歓迎です。